



発行日 令和元年12月9日



No.8

みんなちがって みんないい みんな なかまだ 南小

校長 宮 居 伝

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋…とチャレンジする機会が多かった、また、学びの多かった二学期もいよいよまとめの時期となりました。子どもたちの頑張りに大きな拍手を送りたいと思います。

ところで、互いの人権を尊重することは、日頃から大切にしなければなりません。特に、この時期、人権週間を設け取組を進めてきました。

本校では、「みんなちがって みんないい みんな なかまだ 南小」を、「あったか目標」とし、年間を通じて、時々の指導や学級づくり・仲間づくりに取り組んでいます。この人権週間では、これまでの振り返りなども行い学習を進めました。その様子の一端を少し紹介します。



「わ音」さんによるぬくもりコンサート

12月5日の人権集会では、児童会本部や友情委員会の子どもたちから、「缶バッジづくり（ストップいじめ）の取組」への呼びかけがありました。その後、「わ音さんによる『ぬくもりコンサート』」があり、視覚に障害のある森野ゆかりさんからのお話や演奏をお聴きしました。子どもたちは振り返り（感想など）のなかで、森野さんの話された言葉を、しっかりと受け止め行動していきたいという思いや、「みんなちがって みんないい」という言葉を、さらに意識し生活していこうとする気持ちを書き留めるなど、学びを深めていきました。

みなさん、オリジナルマグネットに入っている言葉を覚えていますか。

（そうです。）「みんなちがって みんないい」です。

このマグネットには、「一人ひとりのちがいを認め、南小の仲間を大切にしてほしい」という願いが込められています。このマグネットを持っているみなさんは、能登川南小学校の大切な仲間です。そんな仲間大切にしてほしいことが、2つあります。

1つ目は、「相手の気持ちを想像する」ということです。「今、相手の人は何を考えているのか」「どういう気持ちでいるのか」「どんなことをすると相手が喜ぶのか」など、相手のことをもっともっと考えてみてください。そうすると、相手が嫌がるようなことをする人はいなくなり、みんなが幸せに過ごせるのではないのでしょうか。

2つ目は「自分から助けを求める」ということです。もし、自分がつらい目にあった時や困ったことがあった時、一人で抱え込まないでください。周りのお友達や先生、お家の人などに、自分が困っていることを、ぜひ伝えてください。きっと力になってくれると思います。

この2つのことをマグネットを見て思い出してください。そして、「みんなが安心して楽しく過ごせる学校 あきらめない南小 支え合う南小 思いやる南小」にしていきたいと思います。

児童会からの呼びかけ



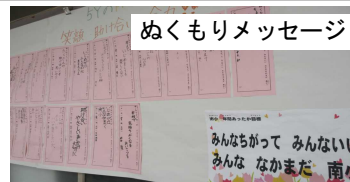
また、子どもたちは、人権標語を一人ひとりが考え、日頃の思いや願いを、「ぬくもりメッセージ」として発信しました。（メッセージは各教室の廊下に掲示しています。）

日々の取組や指導が最も大切なことは言うまでもありませんが、このような取組・期間を通して、今一度、振り返り考えることも必要であると思っています。

そして何より、私たち大人の考え方や行動は、子どもたちの成長にとって大きな環境（要因）です。その大人もまた、日々、人権感覚を磨く努力が必要ではないのでしょうか。右のような言葉がありましたので紹介します。

「いい言葉の発信」ができるよう、人権感覚を磨く努力を、一人の人として続けていきたいと思っています。

ぬくもりメッセージ



そのうちで 高橋けいこ
そのうちで はじめられ
そのうちで ゆめをもち
そのうちで 腹立ち
そのうちで がっかり
そのうちで 泣かされる
ほんのわずかな ひつじが
ふしぎに大きな力をもち
ほんのちよつこのうちで